

令和元年度

主要施策の成果

那珂川町

令和元年度主要施策の成果（一般会計）

議会費関係

1 議会開催日数

○定例会 4回 会期日数 35日
 ○臨時会 1回 会期日数 1日

2 付議事件数

○町長提出 72件
 ◇条例 23件 ◇予算 22件 ◇決算 8件
 ◇その他 12件 ◇専決、報告 7件
 ○議員提出 24件
 ◇条例 2件 ◇報告 16件 ◇その他 6件

3 請願・陳情

○受付件数 11件
 ○意見書提出 3件

4 一般質問の人数

6月 5人 9月 6人
 12月 7人 3月 5人 計23人

5 委員会等の活動

区分 委員会名	会議	行政視察	所管事務調査 ・研修会	意見交換会 ・懇談会
議会運営委員会	13回	—	—	—
総務産業常任委員会	9回	1回	1回	1回
教育民生常任委員会	11回	1回	1回	1回
議会広報特別委員会	12回	—	1回	—

6 議会報告会

4会場 67名出席 令和元年6月27日～7月5日

7 議員派遣

○議員研修

◇町村議会議員研修会(宇都宮市) 令和元年11月21日

○行政調査

◇島根県海士町・邑南町 令和元年6月18日～20日

◇飯坂クリーンサイト(福島県福島市) 令和元年10月31日

8 議会会議用システム

○議会会議用システム及びタブレット端末20台 令和元年12月導入

総務費関係

1 人事関係(一般職員)

(1)職員数の状況

		平成31年4月1日現在	令和2年3月31日現在
一 般 職		200人	177人
	うち再任用	1人	0人
技 能 労 務 職		2人	1人
	うち再任用	1人	0人
計		202人	178人

(注)南那須広域派遣を除いた人数

(2)新規採用及び退職数の状況

		平成31年4月1日付採用者	令和元年度中の退職者
一 般 職		16人	23人
	うち再任用	1人	1人
技 能 労 務 職		1人	1人
	うち再任用	1人	1人
計		17人	24人

2 那珂川町自治功労者等表彰

令和元年10月19日 小川総合福祉センターあじさいホール

○自治功労者等表彰

◇自治功労者表彰 3名

◇高額寄付者感謝状贈呈 2名

3 町有財産管理事業

庁舎維持管理では、設備機器の保守を行うとともに、経費の節減に努めた。

町有財産管理では、施設及び敷地の有効利活用が図られるよう個別施設計画の策定業務委託を実施した。

○町有財産管理

◇那珂川町公共施設個別施設計画策定業務委託 2,723千円

4 防犯・交通安全対策

犯罪、交通事故のない町を目指し、身近な犯罪防止啓発活動の推進、交通安全教育の実施及び交通安全施設等の整備に努めた。

(1)交通安全対策

○「那珂川町交通事故抑止対策町民の集い」の開催

令和元年9月10日 小川総合福祉センター

(2)交通指導員の設置

○教育指導員 1名

○一般指導員 6名

(3)交通安全教育の実施

○幼稚園・保育園児童対象 30回 2,374人

○小中学校児童生徒対象 8回 877人

○母親対象 3回 236人

○高齢者対象 27回 675人

(4)交通安全施設の整備

○道路反射鏡 0基（別に農協寄贈分2基設置）

○区画線 1,702m

(5)高齢者運転免許証自主返納者支援事業

53件

5 地域公共交通対策

住民の交通の利便及び生活と福祉の向上を図るため、デマンドタクシーの実証運行及びコミュニティバス「馬頭烏山線」を運行した。

- (1) デマンドタクシー「なかちゃん号」利用実績
- 運行日数 240日 (平日のみ運行)
 - 乗車人数 13,277人
 - 1日当たりの平均乗車人数 55.3人
 - デマンド交通利用登録者数 3,477人 (令和2年3月31日現在)
- (2) コミュニティバス「馬頭烏山線」の利用実績
- 運行日数 361日 (平日240日、休日121日)
 - 乗車人数 34,488人
 - 1日当たりの平均乗車人数 134.8人 (平日) / 17.6人 (休日)
- (3) 那珂川町地域公共交通会議
- 書面会議 (2回)

6 企画調整・地域振興

(1) 会議等の開催

町の重要施策の審議及び事務事業の総合的な調整を図るため、庁議を9回開催した。

(2) 総合振興計画の進行管理

まちづくりの基本指針となる第2次那珂川町総合振興計画前期基本計画の「まちづくりの3大重点プロジェクト」として位置付けている重点事務事業など、各種事業の進行管理を行った。

(3) まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理

那珂川町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会を開催し、戦略事業の評価検証を行い、PDCAサイクルに基づいて、事業改善計画策定と併せて進行管理を行った。

(4) 過疎地域自立促進計画の進行管理

過疎地域自立促進計画の重点事務事業など、各種事業の進行管理を行った。

(5) 第3次行財政改革推進計画の進行管理

第3次行政財政改革推進計画の進行管理を行った。

(6) 情報システムの総合管理

情報資産の漏洩や情報システムを様々な脅威から保護するために、那珂川町情報セキュリティポリシーに基づき、情報システムの総合管理を行った。

(7) 産学官連携の取組み

大学等との相互友好協力協定・相互協力協定に基づき、事業を行った。

○宇都宮メディア・アーツ専門学校

◇町内事業者のぼり等の製作

◇なかがわ元気フェスタ2019グルメリポート活動

◇広報なかがわ4コマ漫画制作

○文星芸術大学

◇R293アートツアー（さくら市との3者共同事業）

※新型コロナウイルス感染症の影響で実施できず

○国土館大学

◇史跡調査

○帝京大学経済学部地域経済学科

◇小砂地区における地域活動等に関する現地調査

○栃木県立馬頭高等学校

◇那珂川学事業

(8)土地利用調整

「第2次那珂川町土地利用調整基本計画」に基づき、適正な土地利用へ誘導を行った。

(9)那珂川町地域振興実践活動事業

“なかがわ元気フェスタ2019”の実施等を「なかがわ元気プロジェクト連絡協議会」に委託した。 4,557千円

(10)「日本で最も美しい村」連合加盟運営費等補助金

小砂Village協議会に対して補助金を交付した。 400千円

(11)地域おこし協力隊事業

6名を地域おこし協力隊員に委嘱し、自らの創意工夫により地域おこし活動を実施した。 19,142千円

(12)移住定住促進事業

町内への移住定住を促進するために、次の事業を行った。

○地域資源情報バンクサイト管理運営事業 258千円

空き家及び空地情報の登録及び紹介 契約件数 10件

○那珂川町空き家改修費補助金 3件 600千円

○那珂川町空き家取得費補助金 7件 2,700千円

○移住定住モニターツアー事業 3,893千円

7 広報・広聴

(1)広報の発行

町行政と住民を結ぶパイプ役として広報なかがわを毎月発行し、町の事務事業等について周知を図るとともに、行政に対する関心を高めるよう努めた。

○広報なかがわ(毎月10日発行) 5,700部/月

(2) 那珂川町公式ホームページの運営

「くらしの情報」、「観光情報」、「生涯学習」、「町のデータ」などの柱をメインに町内外への積極的な情報発信を行うため、那珂川町公式ホームページの管理運営を行った。

(3) 町政（まちづくり）懇談会の開催

町の行政全般について、町民から広く意見や要望を聞き、それらを町政に反映させるため、町政（まちづくり）懇談会を開催した。

○開催場所 小中学校体育館、地区集会所など15会場

○出席者数 308名

○内 容 水害・土砂災害から命を守るために、小中学校における教育活動の充実について、その他

(4) 統計調査

国・県の指定統計として次の調査を実施した。

○学校基本調査

毎年5月1日を基準日として、町内の各小中学校、幼保連携型認定こども園の設置状況（児童生徒数、教諭の配置状況など）を調査した。

○工業統計調査

6月1日を基準日として、町内38調査区の製造業の事業所（99事業所中、従業員数4人以上の47事業所を対象）の従業者数、製造品種、出荷額などの状況を調査した。

○経済センサス（基礎調査）

6月1日を基準日として5年ごとに実施、町内3地区1,449の事業所・企業の活動状況を調査した。

○農林業センサス

2月1日を基準日として5年ごとに実施、町内114調査区（集落）の農林業経営体（2,591客体候補中、耕作面積30a以上等の要件を満たした1,030客体が対象）の状況（農業従事者数、耕作面積、作付面積、売上高など）を調査した。

○国勢調査準備（調査区設定等）

来年10月1日を基準日として実施される調査に先立ち、その調査区（129調査区）の設定等を実施した。

(5) 行政事務連絡等

行政区長・班長を委嘱し、事務執行の協力を得た。

○行政区長 37人

○行政班長 191人

(6) 情報公開等

○情報公開の運用状況

実施機関	請求件数	公開	一部公開	非公開
町 長	13	11	2	0

○個人情報保護の運用状況 開示請求なし

8 都市交流

(1) 姉妹都市：アメリカ合衆国ホースヘッズ村

○ホースヘッズ村訪問団交流事業 令和元年7月4日～11日 11名

○青少年海外体験学習派遣事業 令和元年10月27日～11月3日 15名

(2) 観光交流都市：東京都豊島区のイベントに参加

○東京フラフェスタin池袋 令和元年7月20日～21日 2名

(3) 友好都市：秋田県美郷町

○教職員交流事業 令和元年8月28日～29日 10名

○スポーツ推進委員交流事業 令和元年7月1日～2日 9名

9 税務

(1) 町税等収入状況

○町税

(単位：円、%)

税 目	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
町 民 税	836,579,644	805,996,433	1,833,098	28,750,113	96.34
(1) 個 人	675,437,444	645,455,333	1,593,098	28,389,013	95.56
現 年 課 税 分	644,056,300	635,360,030	0	8,696,270	98.65
滞 納 繰 越 分	31,381,144	10,095,303	1,593,098	19,692,743	32.17
(2) 法 人	161,142,200	160,541,100	240,000	361,100	99.63
現 年 課 税 分	160,546,700	160,263,700	60,000	223,000	99.82
滞 納 繰 越 分	595,500	277,400	180,000	138,100	46.58
固 定 資 産 税	1,217,446,664	1,099,171,572	21,897,428	96,377,664	90.28
(1) 固 定 資 産 税	1,209,148,364	1,090,873,272	21,897,428	96,377,664	90.22
現 年 課 税 分	1,099,785,300	1,065,383,981	1,981,100	32,420,219	96.87

滞納繰越分	109,363,064	25,489,291	19,916,328	63,957,445	23.31
(2)交付金	8,298,300	8,298,300	0	0	100.00
軽自動車税	65,776,554	61,700,421	373,600	3,702,533	93.80
(1)軽自動車税	65,097,954	61,021,821	373,600	3,702,533	93.74
現年課税分	60,773,000	59,653,961	10,000	1,109,039	98.16
滞納繰越分	4,324,954	1,367,860	363,600	2,593,494	31.63
(2)環境性能割	678,600	678,600	0	0	100.00
町たばこ税	109,567,445	109,567,445	0	0	100.00
入湯税	16,766,110	16,369,910	0	396,200	97.64
現年課税分	16,307,010	16,307,010	0	0	100.00
滞納繰越分	459,100	62,900	0	396,200	13.70
町税合計	2,246,136,417	2,092,805,781	24,104,126	129,226,510	93.17
うち現年課税分	2,100,012,655	2,055,513,027	2,051,100	42,448,528	97.88
うち滞納繰越分	146,123,762	37,292,754	22,053,026	86,777,982	25.52

○国民健康保険税

(単位：円，%)

税目	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
国民健康保険税	568,903,843	432,308,159	5,688,984	130,906,700	75.99
(1)一般被保険者	564,605,771	431,770,577	5,379,328	127,455,866	76.47
医療給付費 現年課税分	285,212,198	263,499,586	0	21,712,612	92.39
後期高齢者支援金 現年課税分	111,393,850	103,069,535	0	8,324,315	92.53
介護納付金 現年課税分	40,000,500	35,835,660	0	4,164,840	89.59
医療給付費 滞納繰越分	88,936,934	19,831,801	4,030,784	65,074,349	22.30
後期高齢者支援金 滞納繰越分	24,901,155	6,194,434	874,473	17,832,248	24.88
介護納付金 滞納繰越分	14,161,134	3,339,561	474,071	10,347,502	23.58
(2)退職被保険者	4,298,072	537,582	309,656	3,450,834	12.51
医療給付費 現年課税分	126,602	126,602	0	0	100.00
後期高齢者支援金 現年課税分	51,150	51,150	0	0	100.00
介護納付金 現年課税分	47,900	47,900	0	0	100.00
医療給付費 滞納繰越分	2,757,532	210,477	234,060	2,312,995	7.63
後期高齢者支援金 滞納繰越分	731,129	57,185	33,870	640,074	7.82
介護納付金 滞納繰越分	583,759	44,268	41,726	497,765	7.58

○介護保険料

(単位：円，%)

税 目	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
介護保険料	414,460,035	407,887,872	1,217,220	5,354,943	98.41
現年課税分	408,184,025	406,144,870	0	2,039,155	99.50
(1)特別徴収	381,854,688	382,324,423	0	△469,735	100.12
(2)普通徴収	26,329,337	23,820,447	0	2,508,890	90.47
滞納繰越分	6,276,010	1,743,002	1,217,220	3,315,788	27.77

○後期高齢者医療保険料

(単位：円，%)

税 目	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
後期高齢者医療保険料	139,583,100	139,502,500	35,100	45,500	99.94
現年課税分	139,248,400	139,308,000	0	△59,600	100.04
(1)特別徴収	109,274,100	109,879,800	0	△605,700	100.55
(2)普通徴収	29,974,300	29,428,200	0	546,100	98.18
滞納繰越分	334,700	194,500	35,100	105,100	58.11

(2)徴収嘱託員収納実績

○徴収嘱託員 1人

○収 納 額 26,500,366円

(3)税務関係証明等

○件 数 3,323件

○手数料 904,320円

(4)地方消費税社会保障財源交付金の使途について

○歳入

◇交付金 129,421,000円

○歳出

◇障害者福祉費 51,714,000円

◇老人福祉費 17,360,000円

◇児童措置費 18,839,000円

◇母子福祉費 11,829,000円

◇予防費 20,135,000円

◇健康増進費 9,544,000円

10 戸籍・住民

住民の動向を記録する住民基本台帳について、転入・転出等の各種届出の正確且つ

迅速な処理を行い、住民票や印鑑証明等の証明発行事務のスピードアップに努めた。

戸籍・住民票等の件数については次のとおりである。

○戸籍届出等件数 907件（届出466件・送付441件）

主なものは、出生・死亡・婚姻・離婚・入籍届出等である。

○証明等発行件数 戸籍関係 9,191件

住民票 7,573件

印鑑証明等 7,054件

○旅券申請・交付件数 申請173件 交付176件

○マイナンバーカード交付件数 227件

11 選挙

○参議院議員通常選挙 令和元年7月21日執行 投票率47.45%

12 監査委員

(1) 例月出納検査の実施

○4月から毎月実施 計12日

(2) 決算審査

○一般会計及び特別会計の審査期間 令和元年7月22日～8月1日

○水道事業の審査日 令和元年 7月 8日

○意見書提出日 令和元年 8月20日

(3) 定期監査

○一般会計及び特別会計の監査期間 令和2年1月9日～16日

○水道事業の監査日 令和2年 1月16日

○監査結果報告書提出日 令和2年 2月20日

(4) 財政援助団体等補助監査

○H30 「日本で最も美しい村」連合加盟運営費補助金 令和元年10月21日

○H30 那珂川町プレミアム商品券事業補助金 令和元年10月21日

○H30 那珂川町老人クラブ連合会補助金 令和元年11月20日

○H30 地域活動支援センター事業補助金 令和元年11月20日

○H30 那珂川町体育協会補助金 令和元年12月20日

○H30 姉妹都市訪町25周年記念事業補助金 令和元年12月20日

○監査結果報告書提出日 令和2年 2月20日

民生費関係

1 福祉団体等への支援

地域での要援護者への対応及び地域福祉活動の強化のため、福祉団体等の育成・支援を実施した。

○民生委員児童委員への支援	53人	3,230千円
○社会福祉協議会への支援		
◇社会福祉協議会運営費補助金		36,342千円
○災害見舞金		
◇火災1件 土砂災害1件 浸水被害1件		180千円
○福祉相談事業	38件	8,190千円
○地域力強化推進事業		3,624千円

2 障害者福祉

障害者の自立更生を推進するため、身体障害者巡回診査更生相談、障害福祉サービス(介護、訓練等給付)事業、地域生活支援事業による支援、重度心身障害者への医療費助成、特定疾患患者への見舞金の給付及び補装具の給付を積極的に実施した。

○補装具給付及び修理	30件	4,545千円
○自立支援(更生)医療	26人	13,211千円
○重度心身障害者医療費助成	250人	27,351千円
○特定疾患患者見舞金	141人	4,674千円
○障害者福祉サービス事業	217人	369,344千円
○障害者地域生活支援事業	118人	33,415千円

3 高齢福祉

高齢者の生きがいづくり及び要援護老人対策として次の事業を実施した。

○敬老会	21会場・1,007人	6,509千円
○敬老祝金 (80、85、90、95歳)	477人	4,005千円
(100歳)	7人	700千円
○緊急通報システム装置の貸付(R2.3.31現在)	75件	3,248千円
○軽度生活援助事業	18人	587千円
○老人福祉施設入所措置(R2.3.31現在)	養護11人	27,506千円
○馬頭総合福祉センター管理運営 利用者	16,318人	20,257千円
○小川総合福祉センター管理運営 利用者	29,136人	108,726千円
○小川総合福祉センター空調熱源機器更新工事		43,098千円

- 小川総合福祉センター照明器具等改修工事 39,171千円
- シルバー人材センター運営補助 8,126千円
- 老人クラブ等社会活動推進事業（補助金） 2,400千円

4 国民年金

公的年金（国民年金）の必要性を十分に周知させるため、「広報なかがわ」への掲載等により普及推進を図った。

- 国民年金被保険者数 2,258人
(1号:1,692人 3号:555人 任意加入11人)

5 児童福祉

子育てを行っている家庭を支援し、児童の健全育成を図るため、次の事業を実施した。

- 認定こども園の運営 142,298千円

◇園児数内訳

(令和2年3月現在 単位：人)

クラス年齢 認定こども園	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
なかのこ認定こども園	6	11	9	15	20	22	83
ひばり認定こども園	6	13	7	33	18	28	105
わかあゆ認定こども園	9	18	28	34	46	29	164
合計 (うち町外児童)	21 (0)	42 (2)	44 (2)	82 (2)	84 (0)	79 (0)	352 (6)
町外保育園等	1	0	2	2	4	2	11

- 施設型給付費・地域型保育給付費 10,125千円

- 児童手当の支給

区分	支給月額(円)	延べ児童数(人)	支給金額(千円)
3歳未満	15,000	1,839	27,585
小学校修了前(第1子・第2子)	10,000	8,231	82,310
小学校修了前(第3子以降)	15,000	1,340	20,100
中学校修了前	10,000	3,687	36,870
特例給付	5,000	377	1,885
合計		15,474	168,750

- 遺児手当の支給 児童1人 36千円
 ○放課後児童クラブの運営 29,765千円

◇入所児童数内訳 (令和2年3月現在)

小学校 クラブ	馬頭小	馬頭東小	小川小	計
馬頭放課後児童クラブ	48人	3人	—	51人
小川放課後児童クラブ	—	—	42人	42人
合計	48人	3人	42人	93人

- 子育て支援センターの運営 7,831千円

◇利用者数内訳

センター 利用者	保護者	子ども	計
子育て支援センターひばり	955人	1,374人	2,329人
子育て支援センターわかあゆ	1,429人	1,774人	3,203人
計	2,384人	3,148人	5,532人

◇「子育て支援センターわかあゆ」新築 (子育て支援住宅整備事業関連)

- 子育て短期支援事業 延べ20日 112千円
 ○病児保育事業 延べ73人 1,291千円
 ○結婚相談所補助金 婚活イベント 2回 1,912千円
 結婚相談員の紹介による結婚 2組
 ○結婚新生活支援補助金 2件 480千円
 ○子ども・子育て会議 1回
 ○児童虐待防止対策
 ◇要保護児童対策地域協議会 代表者会議 1回
 実務担当者会議 11回
 個別ケース検討会議 2回
 ◇児童虐待防止研修 わかあゆ認定こども園 (保護者・園児・職員各1回)
 ◇児童虐待対応職員研修 認定こども園職員対象 1回

- 医療費助成事業

事業名	対象人数(人)	助成人数(人)	助成件数(件)	助成額(千円)
こども医療費助成	1,482	1,449	17,887	36,741
妊産婦医療費助成	125	55	458	1,798
ひとり親家庭医療費助成	374	90	1,848	2,675

養育医療費助成	0	0	0	0
育成医療費助成	1	1	8	224

○子育て支援住宅整備事業

◇子育て世帯用住宅「エミナール那珂川」

・重量鉄骨造り 3階建て 延床面積1,737.92㎡ 20戸 1棟

◇子育て支援施設「子育て支援センターわかあゆ」

・軽量鉄骨造り 平屋建て 延床面積118.75㎡ 1棟

◇付帯施設整備

・プレイヤード、駐車場（入居者用、来客用、施設利用者用）、屋外物置 等

○子育て支援住宅整備関連

◇事業者募集 公募型プロポーザル方式

◇事業者選定 事業者選定プロポーザル審査委員会

◇事業協定 令和元年 6月 6日締結

◇事業用地貸付契約 令和元年 6月14日締結

◇起工式 令和元年 7月17日

◇入居者募集 令和元年11月 1日開始

◇建物賃貸借契約（転貸承諾付き） 令和元年12月25日締結

◇集金管理委託契約 令和元年12月25日締結

◇竣工式典 令和2年 3月 7日

◇入居開始 令和2年 3月 8日

衛生費関係

1 保健予防

社会を取り巻く環境も大きく変化している中で、町民の健康問題は重要課題であり、「自分の健康は自分で守る」という意識の高揚と、町民の健康水準の向上を図るため、健康づくり及び疾病予防対策事業を実施した。

(1)健康づくり推進事業

ライフスタイルの多様化に伴い増加している生活習慣病を予防改善するために、栄養・食生活、運動・身体活動の見直しや習慣化について実践できるよう支援した。

○那珂よし健康ポイント事業		599人
○健康イベント	6回	208人
○メンバーズらくらく倶楽部	31回	513人

○食生活改善推進員協議会	14回	415人
○その他		
◇「広報なかがわ」による啓発活動		12回
◇「福祉まつり」での普及及び啓発活動（低栄養予防）	1回	170人

(2)生活習慣病予防対策事業

青壮年期からの生活習慣病予防と疾病の早期発見、早期治療を目的に、健康増進法に基づき、総合的な保健事業を実施した。

また、国の施策である「がん検診推進事業」及び「新たなステージに入ったがん検診総合支援事業」により、特定の年齢のがん検診の自己負担金を無料とし、受診率の向上を図った。

○病態別栄養相談（電話も含む）	21回	25人
○訪問指導		3人
○基本健康診査(20～39歳)	27回	261人
○胃がん検診（20歳～）	26回	1,058人
○子宮がん検診(集団検診)（20歳～）	14回	1,113人
(うち、がん検診推進事業受診者)		(2)
○子宮がん検診(個別検診)	6～2月	1人
(がん検診推進事業)		
○乳がん検診（20歳～）	14回	1,568人
(うち、がん検診推進事業受診者)		(20)
○乳がん検診(個別検診)	3回	4人
(がん検診推進事業)		
○大腸がん検診（20歳～）	27回	2,317人
○肺がん検診（20歳～）	27回	2,327人
○前立腺がん検診	16回	856人
○肝炎ウイルス検診	27回	182人
○骨粗しょう症検診	14回	184人
○歯周疾患検診	7～9月	68人
○精神保健相談会	12回	41人
○ゲートキーパー養成講座	2回	55人
○運動普及指導員講習会	2回	14人
○生活習慣病予防教室「なかがわフィットネス倶楽部」		
	12回	211人

(3)母子保健対策事業

母子の一貫した健康管理を目指し、母子保健法に基づく健康教育・相談及び各種

及び妊婦の風しん罹患による先天性風しん症候群を予防するための風しんワクチンの接種費用を助成した。

○定期予防接種	◇BCG	61回
	◇不活化ポリオ	0回
	◇麻しん・風しん混合	119回
	◇二種混合	105回
	◇四種混合	257回
	◇インフルエンザ（高齢者）	4,464人
	◇肺炎球菌（高齢者）	232人
	◇日本脳炎	377回
	◇ヒブ	240回
	◇小児用肺炎球菌	243回
	◇水痘	106回
	◇B型肝炎	176回
○任意予防接種の助成	◇ロタ	106回
	◇肺炎球菌（対象外）	6人
	◇風しん（大人）	7人
	◇追加的風しん対策（抗体検査）	125人
	◇追加的風しん対策（麻しん風しん予防接種）	47人
○新型コロナウイルス感染症対策本部会議（令和2年2月3日設置）		10回

2 環境衛生

住民の生活環境の整備を図るため、次の事業を実施した。

（1）廃棄物収集処理対策事業

廃棄物の分別収集とリサイクルに取り組むために、適正な廃棄物収集事業を実施した。

○廃棄物内訳

◇可燃ごみ	3,752 t	※資源ごみ内訳 ・スチール缶 31 t ・アルミ缶 7 t ・ペットボトル 55 t ・びん類 151 t ・紙類 300 t ・布類 92 t
◇不燃ごみ	154 t	
◇資源ごみ	636 t	
◇粗大ごみ	146 t	
◇有害ごみ	7 t	

○搬入内訳

◇委託業者収集搬入	3,623 t
◇直接搬入	1,072 t

(2)環境のまちづくり事業

第2次那珂川町環境基本計画に基づき、環境のまちづくり事業を推進した。

○太陽光発電等設備導入補助

◇太陽光発電	4件	補助額	382千円
◇高効率給湯器	45件	補助額	1,575千円
◇木質バイオマス暖房設備	3件	補助額	302千円

○環境教育用小冊子（漫画）配布

◇環境のまちづくり推進会議と町内小中学校、宇都宮メディア・アーツ専門学校の連携により作成した小冊子を、町内の小学4年生から中学1年生までに配布した。

○環境学習会開催支援 3件 81人

○資源ごみ回収支援 8団体23回 47,485kg

○牛乳パック資源化運動

◇町内小学校において給食用牛乳パックの資源化を実施 収集量 912.3kg

◇なかちゃんトイレトーパー交換（紙パック資源化）

生活環境課・小川出張所（通年） 収集量 1848.7kg

○生ごみ堆肥化事業

◇市街地区域において生ごみ堆肥化事業を実施

1,351世帯 224,509.6kg

◇生ごみ堆肥化事業協力者に地域通貨「土の恵」を配布 4,975枚

(3)畜犬対策事業

動物愛護について正しい知識の普及を図るとともに、狂犬病予防法等に基づく登録、予防注射を実施した。

○犬新規登録 50頭

○犬予防注射 641頭

○野犬・不用犬引取り 5頭

(4)浄化槽設置整備事業

生活排水による公共用水域の水質汚濁防止を図るため、浄化槽設置に対し補助を行った。

○浄化槽設置整備補助金 26件 9,832千円

(5)放射能対策

○空間放射線量測定

馬頭図書館において、測定及び結果をHP等に公表した。

○放射線量測定器の貸し出し 0件

○食品の放射性物質簡易検査 0件

3 公園墓地・小川墓地

○公園墓地200区画及び小川墓地24区画の維持管理を行った。

4 環境保全対策

町民が健康で安全な生活を営むため、公害防止対策等の推進に努めた。

(1)河川等の水質検査の実施(25ヶ所、9月及び1月実施)

(2)騒音、悪臭等の防止対策

(3)不法投棄監視員2名が、月10回の巡回監視を行った。

(4)不法投棄物の回収処理を行った。

(5)環境美化県民運動の実施(参加者3,573人)

(6)小型家電リサイクル:窓口回収及び町福祉まつりでイベント回収を行った。(回収件数418点)

(7)北沢地区不法投棄物処理対策

最終処分場の理解を深めてもらうための先進地視察に協力した。

○最終処分場先進地視察

◇飯坂クリーンサイト(福島県福島市)

3回 52名

5 追悼式・特別弔慰金

○戦没者消防殉職者合同追悼式の実施(参加者152名)

農林水産業費関係

1 農業委員会

農業委員会等に関する法律に基づき、農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農家の地位向上に寄与することを目的に事業を行った。

(1)農地法に係る権利の設定・移転・転用等の許認可事務とともに、農業経営基盤強化促進法に基づく利用関係の調整や農地流動化の推進活動を実施した。

○農地法3条(農地の権利移転等) 34件 63筆 8.97ha

○農地法4条(自己農地の転用) 5件 6筆 0.40ha

○農地法5条(転用での権利設定・移転) 56件 69筆 5.46ha

○非農地証明 6件 7筆 0.99ha

○利用集積 150件 438筆 73.08ha

(2)農地の公的管理主体として、食糧の生産基盤である優良農地の確保と有効利用の促進を図った。また、農地パトロールを行い、利用状況調査を実施した。

- (3) 農業者年金のリーフレットを配布するなどして、制度の普及及び加入推進を行い、年金の適正な受給による農業者の老後の生活安定に努めた。
- (4) 関係機関と連携し、農業経営の近代化・合理化の基礎となる農業簿記、記帳指導及び農業青色申告制度の普及推進活動を実施した。
- (5) 農業の担い手の発掘・育成と地域農業の未来を考える機会の提供を目的に「担い手育成シンポジウム」を開催し、馬頭高校生や農業関係者等124名の参加があった。

2 農業振興事業

人・農地プランの話し合いで活用するため、農業委員会と連携し、農業者の後継者の有無や農業経営の意向についてアンケートを実施し、結果を反映した地図を作成した。

また、中山間地域等直接支払交付事業、多面的機能支払交付事業により中山間地域での農用地の維持及び農地の持つ多面的機能を維持するため、農業施設・農地の保全活動を支援した。

その他、農業団体育成支援、米の過剰生産の抑制対策、イノシシ等の農作物被害防止対策、新規就農支援、パイプハウス等の導入による新規園芸作物の導入及び規模拡大支援、親元就農支援、農業担い手への農地集積対策等を実施した。

単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
人・農地問題解決加速化支援事業	人・農地プランのアンケート実施結果を取りまとめた地図の作成	825	
多面的機能支払交付事業	農用地、水路、農道等の地域資源保全のための共同活動支援 取組組織 8組織	13,043	交付事業 12,955 推進費 88
中山間地域等直接支払交付事業	農地保全のための共同作業支援 取組組織 63組織	30,988	交付事業 30,925 推進費 63
農業団体組織育成事業	農産物生産団体組織の育成 集落を支える組織経営体育成	737	
経営所得安定対策事業	需要に応じた米生産の推進 水田の畑地化利用の促進	4,571	
農作物等鳥獣被害防止対策事業	電気柵等の導入支援 26件	793	総事業費 1,780
農業次世代人材投資事業	新規就農者（経営開始型）支援 5人	6,000	
園芸作物振興対策事業	園芸作物の新規導入、規模拡大 支援 5人 1,582㎡	4,104	総事業費 9,464
農業後継者育成支援事業	親元新規就農者支援及びの担い手の確保・育成支援 2人	2,000	総事業費 7,600

農地集積・集約化対策事業	農地中間管理機構を利用した担い手への集積協力者支援 12.1ha	1,809	
--------------	-------------------------------------	-------	--

3 畜産振興事業

和牛の生産振興対策及び乳用牛の疾病予防対策、血統管理を実施した。また、新食肉センター整備を支援した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
畜産振興事業	那珂川牛振興事業	945	
	家畜伝染病予防対策事業	1,816	
	優良乳用後継子牛保留事業	242	
	牛群検定事業	252	2団体
	畜産担い手育成総合整備事業	52,914	
	新食肉センター整備支援事業	2,704	

4 土地改良事業

農業生産基盤及び農村生活環境基盤整備のため、用排水路及び農道整備事業、農業用ため池の防災対策を実施した。また、県営馬頭中部地区中山間地域総合整備事業を推進した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
農業集落排水事業	農業集落排水事業特別会計繰出金	34,473	
町単農村振興事業	町単独農村振興事業費補助金 10件	2,799	
県単農業農村整備事業	小口地区農道舗装工事 L=163.0m	4,763	
	矢又地区農道舗装工事 L=554.0m	18,344	
	県単独土地改良事業（小川土地改良区、西の原用水土地改良区）	8,100	
農業用ため池防災事業	ため池ハザードマップ作成（谷川地区）	2,750	
農道維持管理事業	谷川入郷地区農道	160	

農業団体組織育成事業	小川土地改良区、馬頭土地改良区、塩那台地土地改良区	3,158	
農業基盤整備促進事業	山崎農道舗装工事 L=755.6m	30,262	
県営馬頭中部地区中山間地域総合整備事業	和見地区圃場整備（面工事14.6ha）	81,434	

5 イノシシ肉加工事業

イノシシ肉加工施設を運営し、獣害の軽減及び特産品生産による地域の活性化を図った。

（単位：千円）

事業名	事業内容	事業費	備考
イノシシ肉加工事業	受入頭数 444頭	22,809	取引件数 847件 高線量廃棄頭数 19頭

6 林業振興事業

有害鳥獣捕獲従事支援により被害軽減を図った。

林道の長寿命化を図るために、林道の維持工事を行った。

とちぎの元気な森づくり事業等により、里山の景観保全及び維持管理を行った。

八溝産材の需要拡大を促進することにより、地域林業の振興と定住促進を図った。

（単位：千円）

事業名	事業内容	事業費	備考
猟銃免許取得等支援事業	狩猟登録経費支援 39人 新規狩猟免許取得経費支援 1人	250	
有害鳥獣捕獲強化支援事業	有害鳥獣捕獲支援（イノシシ 287頭、ハクビシン 2頭、カワウ 22羽）	1,746	
林道維持管理事業	林道月出ヶ沢線維持工事	306	
木材需要拡大事業	八溝材使用新築住宅補助 12件	16,948	
とちぎの元気な森づくり事業	里山林管理事業 22箇所 96.6ha	4,450	
	里山林管理事業補助金 3箇所 20.4ha	3,380	
	木製品整備支援事業 1件	5,000	
森林・山村多面的機能発揮対策事業	里山林保全 21.9ha、資機材等の整備	438	

○林業施設利用状況

施 設 名	利 用 者 数	備 考
特 産 品 生 産 施 設	34人	

7 放射能対策

- 食肉加工したイノシシ肉の放射性物質を全頭検査した。
- 農産物、林産物及び水産物における放射性物質の検査を実施した。
- 農産物の安全安心キャンペーンを実施した。

商 工 費 関 係

1 商工業の振興

商工会が中心となって実施したまちづくり事業、商店街活性化事業、商工業振興事業等について支援した。また、中小企業振興策のひとつとして融資制度の利用促進を図った。

(1)商工会支援

- 那珂川町経営改善普及事業費補助金 11,491千円
- 那珂川町商工業振興事業費補助金 8,840千円
- 那珂川町プレミアム商品券発行事業補助金 19,872千円

(2)中小企業振興資金融資状況

- 新規貸付件数 48件 171,250千円
- 信用保証料補助額 47件 3,443千円

2 観光の振興

那珂川町として、観光協会などの観光関連団体とともに、町内の観光施設の案内、温泉郷・飲食店等の紹介、地元特産品の宣伝及び観光イベントへの参加などに積極的に取り組み、交流人口の増加を推進し、地域の活性化に努めた。

なかでも、栃木県のアフターデスティネーションキャンペーンに併せ、「なかチョイス」や「ふくろうがいっぱい展第2弾」などを行い、誘客に努めた。

(1)観光関連団体への補助

- 地域住民の協働によるまちづくり推進事業 500千円

○那珂川町観光協会 11,049千円

○馬頭温泉保護開発協会 900千円

(2)主な観光施設の利用状況（平成31年1月1日～令和2年12月31日）

施設名	利用人数	備考
青少年旅行村（那珂川グリーンヒル）	2,033人	指定管理施設
町営温泉浴場ゆりがねの湯	73,289人	指定管理施設
まほろばの湯	98,367人	指定管理施設
道の駅ばとう	335,001人	
ふるさとの森公園	2,337人	
まほろばキャンプ場	2,193人	指定管理施設

3 消費者行政

消費者被害拡大防止のために啓発冊子を作成し、役場や関係機関等の窓口に設置した。また、消費者生活相談を大田原市消費者生活センターへ委託して専門の職員の対応とし、専門窓口が設けられたこととお知らせするチラシ配布も行った。

○消費生活相談受付件数 50件

4 開発推進

栃木県企業立地促進協議会等を通じ、情報収集に努め、とちぎ企業立地・魅力発信セミナーに参加など誘致活動を行った。また、既存立地企業のフォローアップを行い、企業の定着促進を行った。

土木費関係

1 道路橋りょう整備事業

道路は、生活の利便性の向上や産業の振興に大きな役割を果たしていることから、地域間の幹線道路や生活道路を整備した。また、都市間を結ぶ主要幹線道路である国・県道の整備を関係機関に要望した。

(単位：千円)

事業種別	路線名等	事業内容等	事業費	備考
改良舗装	7 6 号 線 (繰越明許)	改良舗装工事 L=352.3m W=10.0m	54,564	
	7 6 号 線	舗装工事 L=299.1m W=10.0m 改良工事 L=198.0m W=10.0m 用地 一式	49,644	
	和見立野線 (繰越明許)	改良舗装工事 L=180.0m W=5.0m	22,586	
	上郷須賀川線 (繰越明許)	用地・補償 一式	21,530	
	上郷須賀川線	道路改良工事 L=20.0m 用地・補償 一式	20,664	
	一渡戸大鳥線	改良舗装工事 L=77.1m 道路改良工事 L=70.6m	31,218	
	三川又川崎線	道路改良工事 L=151.4m 用地調査等業務 L=130.0m 用地 一式	14,042	
	都新道線	測量設計業務 L=200.0m	8,547	
	薬利後沢線	道路詳細設計業務 L=700.0m	5,720	
	金谷線	用地測量業務 L=1,000.0m	4,950	
	小口長峰線	用地測量業務 L=1,900.0m	19,470	
橋梁長寿命化	三輪橋 (繰越明許)	橋梁修繕 L=16.5m	5,908	
	大松橋	点検業務	152	
	道路施設点検	橋梁点検 (44橋)	15,136	
	橋梁長寿命化 修繕計画策定	計画策定 (222橋)	11,000	

2 住宅・建築物耐震改修等事業

既存民間住宅の耐震性の向上を図るため、個人がおこなう耐震診断・耐震建替等の事業に対し補助をおこなった。

○木造住宅耐震改修等事業補助金

- ・耐震診断 1件 20千円
- ・耐震建替（繰越明許） 1件 800千円

3 地籍調査事業

那珂川町の土地の実態を正確に把握するため、国土調査法に基づく地籍調査事業（盛泉Ⅰ・Ⅱ地区、大内Ⅵ・Ⅶ地区）を実施した。

事業名	事業内容	事業費	備考
地籍調査事業	調査・測量業務 盛泉Ⅱ地区 A=1.10k㎡	22,550	
	調査・測量業務 大内Ⅶ地区 A=0.36k㎡	12,870	
	数値情報化業務 盛泉Ⅰ地区、大内Ⅵ地区	341	

4 公園

町民の身近な交流の場・憩いの場として、施設の維持管理に努めた。

○公園管理事業

- ・馬頭公園内（芝生、法面、トイレ等）管理業務 387千円
- ・馬頭公園遊具点検、修繕 260千円
- ・室町小公園管理業務 102千円

5 住宅

町営住宅221戸、町有住宅77戸の維持管理を行い、良好な居住環境の整備に努めた。また、民間活力を利用し、子育て支援住宅（20戸）を整備した。

○町営住宅等管理事業

- ・住宅給排水設備等修繕（南町住宅、サンコーポラス馬頭他） 4,157千円
- ・住宅設備等保守点検業務（水道施設、消防設備、排水設備等） 1,473千円

○子育て支援住宅整備事業

- ・エミナール那珂川（事業者選定、整備工事、竣工式等） 1,620千円

消 防 費 関 係

1 火災の概況

令和元年度中の那珂川町における火災出動件数は6件で、前年度から7件の減であった。

○火災種別件数 建物3件、その他火災3件

○火災地区件数 小口1件、大内1件、小砂1件、小川2件、吉田1件

2 消防施設の整備

○消防車両の更新 1台（消防ポンプ自動車）

◇第2分団第1部（健武）

1台（小型動力ポンプ積載車）

◇第5分団第3部（浄法寺）

○消防車庫の新築 1棟（木造平屋建 建築面積57.97㎡）

◇第5分団第2部（薬利・芳井）

3 消防団点検・訓練関係

(1)点検

○ 6月 2日 那珂川町消防団夏季点検 出場率 75.1%

○ 10月 13日 那珂川町消防団内点検 (東日本台風のため中止)

○ 10月 27日 那珂川町消防団通常点検 (東日本台風のため中止)

(2)訓練

○ 4月 21日 教養訓練

○ 9月 8日 放水中継訓練

(3)操法大会 ※2年毎のため、令和元年度は実施せず。

4 防災関係

(1)防災備蓄品の更新（飲料水、パン） 792千円

(2)水防対策

○ 7月30日 大雨による警戒

○ 10月12日 台風19号災害対応

～13日 台風19号災害対応

教育費関係

1 学校教育

(1) 小学校・中学校

文部科学省及び県教育委員会の教育施策を踏まえ、未来を担う子どもたちが豊かな情操と道徳性を身につけ、国際的視野を持ち、郷土・社会に貢献しうる実践力と創造性に富む人づくりに努めた。町教育基本方針に基づき、活力に満ちた教育活動を推進し、学びの基盤をつくる確かな学力、心身ともに健康で豊かな人間性を養い、各校の創意工夫のもと積極的に教育の推進を図った。

なお、教育環境の充実、教育施設等の整備のため実施した主な事業は次のとおりである。

○スクールカウンセラー等配置事業	1, 804千円
○小学校教育用パソコン端末等機器借上	3, 392千円
○中学校教育用パソコン端末等機器借上	2, 403千円
○小学校教材備品費	1, 148千円
○中学校教材備品費	1, 301千円
○小学校就学等援助費	4, 546千円
○中学校就学等援助費	3, 786千円
○小学校スクールバス運行管理業務	46, 143千円
○中学校スクールバス運行管理業務	12, 334千円
○中学校生徒通学費補助	330千円
○総合学習推進費補助	450千円
○外国語指導助手設置費	13, 668千円
○馬頭小学校環境整備事業	10, 476千円
○馬頭中学校施設整備事業	7, 625千円
○小川中学校施設整備事業	99, 748千円

(2) 通学費等補助

栃木県立馬頭高等学校の生徒の確保と維持存続を図ることを目的に、在学する生徒に対し、通学費等の補助を行ない保護者の負担を軽減した。

○通学費等補助	5, 953千円
---------	----------

(3) 学校給食センター

学校給食法の趣旨を踏まえ、学校給食センターの衛生管理に万全を期すとともに、児童生徒の心身の健全発育のため、栄養のバランスに配慮した給食を提供した。

また、学校給食を活用した食育の推進に努めた。

○給食実施状況

- ◇小学校3校、中学校2校、児童生徒職員数1,057人
- ◇完全給食 給食実施回数177回（うち米飯103回）
給食実施総食数 183,670食

○放射性物質検査

- ◇学校給食食材の放射性物質検査

安全で安心な学校給食を提供するため、給食用食材や給食1食（まるごと）について、給食センター（毎週月曜日）所有の多機能放射線測定器により定期的に放射性物質（放射性セシウム）の検査を実施した。

2 社会教育

町民が生涯学習を実践することができるよう学習環境の形成に努めた。

また、生涯学習の観点にたって社会教育活動を推進し、青少年をはじめ成人、高齢者を対象に各種学級、講座を開催し、学習機会の提供に努めた。実施にあたっては、指導者の養成と社会教育団体の育成を目的に学習活動を展開した。

次に、芸術文化の領域では、町民に活動の機会を提供するなど文化団体の育成と文化の振興に努めた。さらに、町民一人ひとりが郷土の歴史を理解し、郷土愛の精神を養うために地域の文化遺産に関わる学習の機会を提供した。

(1)生涯学習

- 男女共同参画事業として、講演会を計画

- ◇講師 中村 シュフ 氏

（新型コロナウイルス感染防止対策のため中止）

- 社会教育活動として、「なかがわ町民大学」を実施した。

- ◇演題 食雑誌の編集者として伝えたいこと

- ◇講師 植野 広生 氏 参加者 120名

(2)青少年教育

青少年の社会参加と体験学習を推進するために、中・高校生を対象にリーダーの養成とボランティア活動を推進するとともに、青少年の健全育成に努めた。

- ジュニアボランティアズクラブの育成・指導

- 青少年育成協会への支援

- 成人式の開催 令和2年1月12日 新成人参加者139人

(3)家庭教育等

家庭教育学級、幼児教育学級、思春期講座を実施し、家庭教育などの重要性につ

いて理解を深めるとともに、家庭での実践を促すために親学習プログラムを実施した。

- 家庭教育学級 馬頭小学校・馬頭東小学校・小川小学校
馬頭中学校・小川中学校
- 幼児教育学級 なかのこ認定こども園・ひばり認定こども園
わかあゆ認定こども園
- 思春期講座 馬頭中学校・小川中学校

(4) 高齢者教育

高齢者を対象に「いきいきシニア教室」を開設し、学習活動を通して心のふれあいと教養を深め、豊かな人生設計を形成するための学習活動を展開した。

- いきいきシニア教室 9回 参加者 209人

(5) 公民館活動

歴史学習、自然体験学習、ものづくり体験、小学生向け講座など、幅広い学習の場の提供に努めた。

また、小川公民館の管理運営に努め、地域住民や行政機関、学校、文化団体などによる活動及び交流の場として提供した。

- ネイチャークラブ 2回 参加者 41人
- ものづくり教室 5回 参加者 90人
- 土屋はかせ塾 2回 参加者 65人
- 夏休み習字教室 2回 参加者 15人
- 親子わくわく教室 2回 参加者 27人
- 武茂川の歴史を探ろう 1回 参加者 13人
- 小川公民館 利用件数742件 利用人数 7,776人

(6) 国際交流活動

国際社会への対応と国際理解を深めるため、青少年海外体験学習派遣事業、ホースヘッズ村訪問団交流事業、ホームステイウィークエンドin那珂川の3事業を実施した。

(7) 芸術文化活動

文化祭の開催や文化団体の育成に努めた。また、馬頭小学校学校で移動音楽鑑賞教室を実施した。(馬頭東小学校も参加)

○文化祭の開催

種 目	期 日	場 所	出展数・参加者数
総 合 展	11月9日・11月10日	総合体育館	666点

児童生徒作品展	11月9日・11月10日	総合体育館	596点
菊花展	11月1日～11月4日	旧馬頭庁舎跡地	139点
菊花盆栽展	11月1日～11月4日	あじさいホール周辺	115点
邦楽民謡舞踊祭	11月30日	あじさいホール	32組

○南那須地区音楽祭の開催（担当：那珂川町）

令和元年10月1日 あじさいホール 参加団体数 20団体

○移動音楽鑑賞教室の実施

令和元年6月5日 馬頭小学校体育館

「オペラってなあに？～混声四重奏と遊ぼう～」を実施

馬頭小学校・馬頭東小学校児童 計381名

○文化団体の育成支援

第5回那珂川町文化協会音楽部合同コンサート

令和2年1月18日 あじさいホール 参加団体数 7団体

○子どもの森の管理

(8)文化財保護事業

○文化財（技術）伝承者の育成

◇文化財愛護会 那珂川町の歴史資源の啓蒙普及事業と活用事業

◇なす香 解説、保護、ボランティア活動人材育成

○文化財国庫補助事業

◇北向田・和見横穴墓群（国史跡唐御所横穴）範囲確認調査

◇横穴墓発掘調査作業（国士舘大学生：35人（42日間）延べ1,470人参加）

◇那須小川古墳群隣接地範囲確認調査整理作業

○文化財教室の開催

小中高等学校への歴史学習支援のため文化財教室を開催

◇6月5日 馬頭中学校第1学年 60名

◇6月27日、10月31日 小川中学校第1学年 84名

◇7月7日 県立馬頭高等学校 3名

◇2月14日 馬頭東小学校第3学年 12名

◇2月19日 小川小学校第3学年 35名

(9)美術館の運営

美術品、資料等の適切な保存を図るとともに他館と連携しながら各種展覧会を実施した。また、調査・研究及び普及等の事業を行い、芸術その他の文化の振興に努めた。

3月9日から31日まで、新型コロナウイルス感染防止対策のため休館とした。

○展覧会

会 期	展 覧 会 名	入館者数(人)
4月6日～5月12日	企画展 東海道旅三昧	3,282
5月16日～6月16日	企画展 青木コレクションに見る異形のもの	2,698
6月22日～7月28日	企画展 浮世絵動物探検隊!	2,909
8月2日～9月8日	企画展 大江戸 国芳・国貞	3,413
9月13日～10月14日	特別展 ポール・ジャクレー展(前期)	1,907
10月19日～11月24日	特別展 ポール・ジャクレー展(後期)	3,526
11月30日～1月13日	企画展 浮世絵忠臣蔵	1,531
1月18日～2月16日	企画展 江戸の百人一首(前期)	1,327
2月21日～3月8日	企画展 江戸の百人一首(後期)	747
計	特別展1回(前・後期)、 企画展6回(江戸の百人一首/前・後期)	21,340

○町民参加型展覧会【視聴覚研修室ギャラリー】

会 期	展 覧 名	観覧者数(人)
5月3日～5月6日	シャロット・オカダ帽子展	467
8月9日～8月15日	まちの記憶 写真展Ⅱ	567
10月9日～10月14日	那珂川産の繭で作る作品展	421
11月6日～11月10日	ノンフェールガラス工房展	458
計		1,913

○調査研究・教育普及活動

- ◇ミュージアムトークの開催 8回 223人参加
- ◇ワークショップの開催 4回 38人参加
- ◇第15回那珂川町児童生徒版画コンクール 応募作品数 : 821点
- ◇中学生展示室監視ボランティアの試行 9月～11月 19人参加

(10)郷土資料館の運営

郷土の歴史、民俗等に関する資料を収集保存し、郷土への理解と意識の高揚を図る

ため、企画展等を開催した。

3月11日から31日まで、新型コロナウイルス感染防止対策のため休館とした。

○展示会（馬頭郷土資料館）

会 期	展 示 会 名	観覧者数(人)
7月27日～ 9月29日	パネル展 「那珂川町の石、あつめました」	959
11月16日～ 3月10日	第24回企画展 「那珂川町のふるみちを辿る」	1,054
計	パネル展1回、企画展1回	2,013

○展示会関連行事

期 日	行 事 名	参加者数(人)
8月3日・9月21日	パネル展展示解説	8
11月23日	記念講演会 「東野地区の道の変遷と地域づくり —東山道から東北自動車道へ—」	49
11月17日・1月18日	企画展展示解説	12
計		69

○普及啓発活動

◇古文書講座 毎週第3水曜日開催 全11回 参加者161名
(3月は新型コロナウイルス感染防止対策のため中止)

◇工作教室 なつやすみ体験教室 8月10日 15名

◇連携事業 南那須特別支援学校による奉仕作業(清掃) 5月21日 21名

○年間入館者数 4,364人 開館日数 293日

(11)なす風土記の丘資料館

史跡・資料等の適切な保存を図り、広く町内外の人々に公開するとともに、古代那須の歴史への理解を深め、その学習の場を提供し、文化財愛護思想の普及高揚に役立てるため企画展示、体験活動、普及啓発事業を開催した。

3月11日から31日まで、新型コロナウイルス感染防止対策のため休館とした。

○展示会

会 期	展 覧 会 名	入館者数 (人)
9月14日～11月17日	第27回特別展 「那須の古代窯業 —瓦・須恵器の生産と流通—」	1,023

12月7日～1月13日	特別陳列 子を考古学する	336
2月8日～3月10日	3館連携テーマ展 「今年は食 —那珂川流域の古代の食—」	445
計	特別展2回、特別陳列1回	1,804

○展示会関連行事

期 日	行 事 名	参加者数 (人)
9月28日	史跡見学会(埼玉県鳩山町方面)	26
11月2日	特別展記念 シンポジウム	85
9月15日・10月12日 日・11月16日	特別展展示解説(10月は荒天中止)	14
12月7日	古代文字講座	25
12月7日・1月12日	特別陳列展示解説	9
2月22日	成果発表会	63
2月22日	遺跡報告会	50
2月22日	ギャラリートーク	35
2月8日・3月8日	連携展展示解説 (3月は新型コロナウイルス感染防止対策のため中止)	7
計		314

○啓蒙普及活動

◇刊行図書 企画展図録、シンポジウム記録集

◇歴史解説員養成講座 10回 123人

(全12回中、3月実施の2回は新型コロナウイルス感染防止対策のため中止)

◇なす風土記講座 8回 358人

◇マイチャレンジ(職場体験) 1校 5人

◇博物館実習 1校 3人

◇来館団体受け入れ 小学校 62校 2,795人

一般団体 12団体 347人

◇体験講座	学校	54校	2,273人	
	個人		303人	
	団体		35人	計 2,611人
◇出前講座	小中高校	7回	講義6回	史跡解説2回
				体験講座7回
				計 955人
◇土器づくり		50人		
◇古代米栽培		126人		
◇なす風土記ボランティアなす香			研修会1回	25人
○年間入館者数		9,515人	開館日数	280日

(12) 図書館

町民の生涯にわたる学習活動の拠点として、図書館資料の充実に努めるとともに図書館活動の推進に努めた。その実施にあたっては、学校、関係機関、ボランティア団体との密接な連携のもとに事業を実施し、町民の豊かな教養、情操を涵養するために積極的な文化、読書活動を展開した。

○年間利用状況

◇登録者数	6,172人
◇入館者数	30,144人
◇図書貸出冊数	70,752冊

○文化事業の開催と文化活動の推進

◇お話し会	幼児～小学生対象	60回	330人
◇読書会	全町民対象	22回	123人
◇ブックスタート	乳幼児・保護者対象	5回	100人
◇工作教室	幼児～一般対象	3回	39人
◇親子読書教室	幼児・保護者対象	2回	131人
◇こども司書体験	小学生～一般対象	2回	8人
◇読み聞かせ講座	全町民対象	2回	30人

3 社会体育

スポーツを通じて、健康で生きがいのある生活を営み、明朗で連帯感に満ちた町づくりを進めるため、町民ひとり1スポーツを目標に、スポーツ人口の拡大に努め、さらに各種のスポーツ大会、教室、研修講習会等を開催し、スポーツの普及と振興を図った。

(1) 体育施設・夜間照明施設・学校施設(体育施設)の利用状況

	施設名	利用日数(日)	利用団体数	延利用人数(人)
体育施設	総合体育館	302	29	16,029
	馬頭西体育館	70	20	1,612
	小川体育館	311	23	17,201
	健武体育館	24	7	330
	武茂体育館	6	2	73
	谷川体育館	39	13	950
	大山田体育館	188	8	946
	小川南体育館	106	10	1,537
	小川武道館	133	4	1,439
	小川弓道場	50	1	500
	馬頭運動場	344	10	13,945
	大山田下郷運動場	86	2	1,733
	小川運動場	293	11	11,705
	小川南運動場	162	9	3,667
	小川庭球場	327	5	5,418
	那珂川町民プール	31	—	1,146
	合計	2,472	154	78,231
(うち夜間照明)	馬頭運動場	182	4	4,380
	大山田下郷運動場	72	1	713
	小川運動場	203	6	8,792
	小川南運動場	142	5	3,427
	小川庭球場	300	5	2,791
	馬頭東小運動場	125	4	1,152

	合	計	1, 0 2 4	2 5	2 1, 2 5 5
学 校 体 育 施 設	馬 頭 小 学 校	校庭	—	—	—
		体育館	1 2 2	5	9 3 0
	馬 頭 東 小 学 校	校庭	1 2 4	5	1, 5 1 3
		体育館	1 2 4	9	1, 4 2 1
	小 川 小 学 校	校庭	—	—	—
		体育館	1 4 1	2	2, 8 6 0
	馬 頭 中 学 校	校庭	—	—	—
		体育館	1 0 1	5	8 6 9
	小 川 中 学 校	校庭	—	—	—
		体育館	2 1	5	3 5 2
	合 計	校庭	1 2 4	5	1, 5 1 3
		体育館	5 0 9	2 6	6, 4 3 2

3月2日から31日まで、新型コロナウイルス感染防止対策のため利用者制限（高校生以下の利用自粛要請）とした。

(2) 社会体育活動の推進（各種体育行事の開催状況）

行 事 内 容	回数(回)	日数(日)	参加人数(人)
○町民各種大会及び教室 ・野球 ・ゴルフ ・ゲートボール ・バレーボール ・剣道 ・スキー ・ソフトボール ・ソフトバレーボール ・ゆりがねマラソン大会 ・歩け歩け大会 ・グラウンドゴルフ	2 9	5 4	2, 7 2 4
○各種地区及び県大会 ・郡市町対抗駅伝競走大会 ・小学生駅伝大会	2	1	1 2

(3) 体育協会・スポーツクラブ等の育成

町体育協会専門部(18専門部)による自主活動の促進と指導運営体制の強化及び支部(31支部)の地域スポーツ活動の促進を図った。

また、スポーツ少年団(11団)や総合型地域スポーツクラブの活動支援を行った。

○スポーツクラブ(野球、ソフトボール、バレーボール、テニス、スポーツ少年団等)

◇スポーツクラブ 67団体 1,104人

◇スポーツ少年団 11団体 173人

○総合型地域スポーツクラブ(まほろばの里スポーツクラブ)の育成

◇運営委員会の開催 10回

◇定期教室 ハワイアンダンス、グラウンド・ゴルフ、卓球、3B体操、
ウォーキング、ショートテニス、シニアソフトボール、かんたんストレッチ体操

◇小学生向け教室 子ども遊び塾、サッカー

◇スポーツ交流会、スポーツセミナー

(4)スポーツの普及活動

○スポーツ傷害保険の加入促進

○生涯学習カレンダーの発行

災害復旧費関係

1 農林水産施設災害復旧事業

令和元年東日本台風(台風19号)により被災した農地及び農業用施設について、災害復旧事業を実施した。

(単位:千円)

事業名等	事業内容	事業費	備考
農地・農業用施設災害復旧事業	農地・農業用施設災害復旧 7件	18,280	
町単独農林水産施設災害復旧事業	農地・農業用施設災害復旧補助 53件	7,867	
林業用施設災害復旧事業	林道災害復旧 4件	2,717	

2 公共土木施設災害復旧事業

令和元年東日本台風(台風19号)等により被災した公共土木施設について、災害復旧工事を実施した。

(単位：千円)

事業名等	事業内容	事業費	備考
公共土木施設災害復旧事業	町道災害復旧工事 9件	24,816	
	普通河川災害復旧工事 7件	13,090	

3 教育施設災害復旧費

令和元年東日本台風（台風19号）により被災した社会教育施設について、災害復旧工事を実施した。

(単位：千円)

事業名等	事業内容	事業費	備考
社会教育施設災害復旧事業	馬頭運動場進入路応急仮設工事	4,279	

主要施策の成果（特別会計）

ケーブルテレビ事業

ケーブルテレビ施設の適正な維持管理を行い、地上デジタル放送などの再放送サービスやCS有料放送サービスのほか、インターネット接続などの情報通信サービスを提供するとともに、自主放送、文字放送により積極的な行政情報等の提供に努めた。

ケーブルテレビ施設の管理運営

○加入者件数	4,611件（77.7%）
◇インターネット接続サービス	1,045件
◇CS有料放送サービス	180件
◇STBレンタルサービス	98件
○再放送サービス	
◇地上デジタル放送	8局
◇衛星BSデジタル放送	9局
◇FMラジオ放送	3局
○CS有料放送サービス	
◇ゴルフネットワーク外	30局
○主な事業	
◇ケーブルテレビ施設指定管理業務	170,040千円
◇伝送路移設工事	44,451千円
○主な自主制作番組	
◇NewsなかがわTOWN	収録93回
◇企画番組	66タイトル
◇なかTVチョイス	60タイトル
○生中継番組	
◇町議会定例会、臨時会	15日
◇那珂川町夢まつり	1日
◇なかがわ元気フェスタ	2日
◇参議院議員選挙開票速報	1日
○文字放送	
◇文字放送（無料）	239件
○広告放送	
◇文字放送（有料）	19件

国民健康保険事業

1 療養の給付等

療養諸費費用額負担の状況は、次のとおりである。

(単位：千円)

区分	項目	件数	費用額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
一般被保険者	療養の給付	73,219	1,796,835	1,305,423	461,714	29,698
	療養費	1,509	11,890	8,693	3,196	1
	計	74,728	1,808,725	1,314,116	464,910	29,699
退職被保険者等	療養の給付	135	1,339	937	377	25
	療養費	1	2	1	1	-
	計	136	1,341	938	378	25
合計		74,864	1,810,066	1,315,054	465,288	29,724

2 その他の給付状況

被保険者の出産、死亡及び高額療養費に対して、次のとおり支給した。

○出産育児一時金	7件	2,924千円
○葬祭費	45件	2,250千円
○高額療養費	2,912件	207,795千円
◇一般	2,911件	207,786千円
◇一般被保険者高額介護合算	1件	9千円

3 国保世帯数、被保険者の状況

○平均世帯数	2,743世帯
○平均被保険者数	4,717人

4 保健事業関係

被保険者の健康保持増進と医療費適正化対策の状況は、次のとおりである。

○特定健診(40歳以上)	1,399人
○特定保健指導	116人
○医療費通知	延べ6,754通(3回実施)
○ジェネリック医薬品差額通知	158通(2回実施)
○人間(脳)ドック(35歳以上)	350人

後期高齢者医療事業

高齢者の適切な医療費の確保を図るため、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく医療給付を実施した。

○栃木県後期高齢者医療広域連合納付金		189,898千円
○ 〃 負担金(一般会計分)		9,362千円
○医療給付費負担金(一般会計分)		167,035千円
○平均被保険者数		3,179人
○健康診査受診者	医療機関健診	709人
	集団健診	541人
	人間(脳)ドック	38人

介護保険事業

第7期介護保険事業計画(H30～H32年度)に基づき、介護保険事業の更なる充実に努めた。

1 被保険者の状況

65歳以上の第1号被保険者は、令和元年度末現在6,161人であった。

2 認定申請及び認定の状況

被保険者からの認定申請は、1,131件であり、これらを調査したのち、認定審査会にて審議され認定した。なお、令和元年度末の認定者数は1,052人であり、詳細は次のとおりである。

○要介護(要支援)認定者数(令和元年度末)

(単位:人)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
1号被保険者	54	64	298	207	170	142	94	1,029
2号被保険者	—	2	5	7	2	4	3	23
計	54	66	303	214	172	146	97	1,052

3 利用及び給付状況

介護サービスの利用件数及び給付費について、その主な内訳は次のとおりである。

介護予防給付のうち訪問介護・通所介護について介護保険制度の地域支援事業「介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）」に順次移行した。

○居宅介護サービス給付費	11,871件	592,623千円
○地域密着型居宅介護サービス給付費	2,195件	306,500千円
○施設介護サービス給付費	2,641件	618,974千円
◇介護老人福祉施設	1,903件	419,723千円
◇介護老人保健施設	651件	170,654千円
◇介護療養型医療施設	87件	28,597千円
○居宅介護福祉用具購入費	38件	1,085千円
○居宅介護住宅改修費	12件	1,364千円
○居宅介護サービス計画給付費	6,291件	81,178千円
○介護予防サービス給付費	600件	8,309千円
○地域密着型介護予防サービス給付費	41件	2,606千円
○介護予防福祉用具購入費	6件	215千円
○介護予防住宅改修費	7件	737千円
○介護予防サービス計画給付費	454件	1,991千円
○高額介護サービス費	3,286件	32,890千円
○高額医療合算介護サービス費	195件	5,112千円
○特定入所者介護サービス給付費	2,515件	104,034千円

4 地域支援事業

介護保険制度の改正により、要支援・要介護状態になる前からの介護予防を行い、また、介護が必要な状態となってもできる限り自立した日常生活を営むことができるように、以下の事業を実施した。

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業

○介護予防・生活支援サービス事業

要支援認定者と基本チェックリストに該当する事業対象者に、介護予防・日常生活支援総合事業を実施した。(R2.3末の事業対象者は67人)

◇訪問現行相当サービス	306件	4,191千円
◇訪問A（緩和したサービス）	44件	126千円
◇通所現行相当サービス	713件	18,804千円
◇通所C（短期集中型）	27人	1,747千円
◇生活支援サービス（配食サービス）	22人	557千円

◇介護予防ケアマネジメント

延1, 183件 (内委託387件)

委託料: 789千円

○一般介護予防事業

一般高齢者を対象として、運動指導士や介護予防ボランティアによる運動を中心とした介護予防教室を実施した。また、高齢者の介護予防と地域づくりに貢献する介護予防ボランティアの育成を行った。

◇転ばん運動教室	24回	266人
◇運動好っぺ会	24回	226人
◇合同運動教室	24回	477人
◇楽しい運動教室 (地区サロン) 等	51回	471人
◇サロン運営ボランティア養成講座	4回	75人
◇介護予防ボランティア運動指導実践	53回	269人

(2) 包括的支援事業

○総合相談事業

把握された閉じこもり、認知症、うつ等のおそれのある高齢者を対象に、社会福祉士・保健師等による相談、指導や精神保健福祉士による相談会を実施した。

◇介護相談件数		251件
◇物忘れ相談	6回	8人

○権利擁護事業

5件

○包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

◇地域包括支援センター運営協議会の開催	0回
---------------------	----

(※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為)

◇事例検討会の開催

介護支援専門員への助言及び指導と処遇困難事例のケース検討会を実施した。

実12人 (延27人)

○在宅医療・介護連携推進事業 (南那須医師会に一部委託)

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるように、医療関係者と介護事業等の関係者の連携を推進した。

◇多職種連携会議・全体研修会・講演会等	11回
---------------------	-----

○生活支援体制整備事業

◇生活支援コーディネーター業務 (那珂川町社会福祉協議会に委託)	
----------------------------------	--

高齢者が活動する場の確保、不足するサービスの開発等基盤整備に向けた取り組みを実施した。

◇生活支援協議体会議	0回
------------	----

(※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為)

◇介護事業者部会	3回	64人
◇ケアマネジメント部会	1回	22人
○認知症総合支援事業		
住み慣れた地域で生活できるよう認知症地域支援推進員を配置し、医療・介護・地域の連携や認知症の方とその家族の相談業務を行った。		
◇徘徊高齢者等事前登録事業	1件	
◇より処ちよっくら	11回	55人
○地域ケア会議推進事業		
◇地域ケア会議	11回	
(3) 任意事業		
○家族介護支援事業		
◇家族介護者交流会	7回	50人
◇紙おむつ購入費用助成事業	633件	6,787千円
○認知症サポーター養成講座	2回	20人
○配食サービス（生活支援サービスの対象者は除く）	36人	786千円

下水道事業

公共用水域の水質保全と健康で快適な生活環境の保全のため、施設耐震化の推進及び施設の維持管理に努めた。概要については、次のとおりである。

(1) 整備事業

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
公共下水道事業	管路施設耐震補強工事	25,476	
公共下水道事業	公共ます設置工事4箇所	1,102	

(2) 施設管理の状況

項目	単位	馬頭処理区	小川処理区
処理区域面積	ha	105	84
処理区内人口	人	1,538	2,552
水洗化人口	人	941	2,195

水 洗 化 率	%	61.2	86.0
処 理 区 域 内 戸 数	戸	925	1,013
水 洗 化 戸 数	戸	461	904
年 間 処 理 水 量	m ³	135,842	285,098
1 日 平 均 処 理 水 量	m ³	371	779

農業集落排水事業

農業用水の水質保全、生活環境の改善を図るため、施設の維持管理に努めた。

概要については、次のとおりである。

項 目	単 位	北 向 田 地 区	三 輪 地 区
処 理 区 域 面 積	ha	33.0	16.3
処 理 区 内 人 口	人	382	295
水 洗 化 人 口	人	372	279
水 洗 化 率	%	97.4	94.6
処 理 区 域 内 戸 数	戸	150	115
水 洗 化 戸 数	戸	140	101
年 間 処 理 水 量	m ³	63,974	28,669
1 日 平 均 処 理 水 量	m ³	175	78